

新ビジネスにつながるロボット開発セミナー ～そのアイデアを実現させよう！参入編～

ロボットビジネスで新時代を創造しよう！

株式会社アサイ・エンジニアリング

代表取締役 浅井伸一



会社概要

名称	株式会社アサイ・エンジニアリング
代表	浅井伸一（代表取締役）
設立	平成20年7月
業務内容	ロボット等精密機械の企画・開発、 技術コンサルティング、技術教育
所在地	〒235-0035 神奈川県横浜市磯子区田中2-5-5
連絡先	045-773-3225（FAX 同）

代表略歴・沿革

昭和60年	（株）タミヤ入社（企画部設計室）
平成1年	京商（株）入社（開発部）
平成15年	京商（株）開発部・執行役員に就任
平成20年	（株）アサイ・エンジニアリング設立

大学卒業後、（株）タミヤに入社。その後京商（株）に移籍し高性能ラジコン「ミニッツレーサー」等の大ヒットを生む。同社執行役員時代は年間売上100億円を超え業界トップへの躍進に貢献。2008年独立し（株）アサイ・エンジニアリングを創業。35年に及ぶ第一線での開発経験をもとに、プロジェクトのコンセプト検討から商品化まで伴走するスペシャリストとして、大手メーカーや大学研究室の高難度開発案件を数多く成功に導いている。企業・教育機関における講演実績多数。



京商 1/43 dNaNoシリーズ



京商 1/28ミニッツ・レーサーシリーズ



京商 1/8 ハングオンレーサーシリーズ



中小企業 新ものづくり・新サービス展での
牧原秀樹経済産業副大臣と当社社長

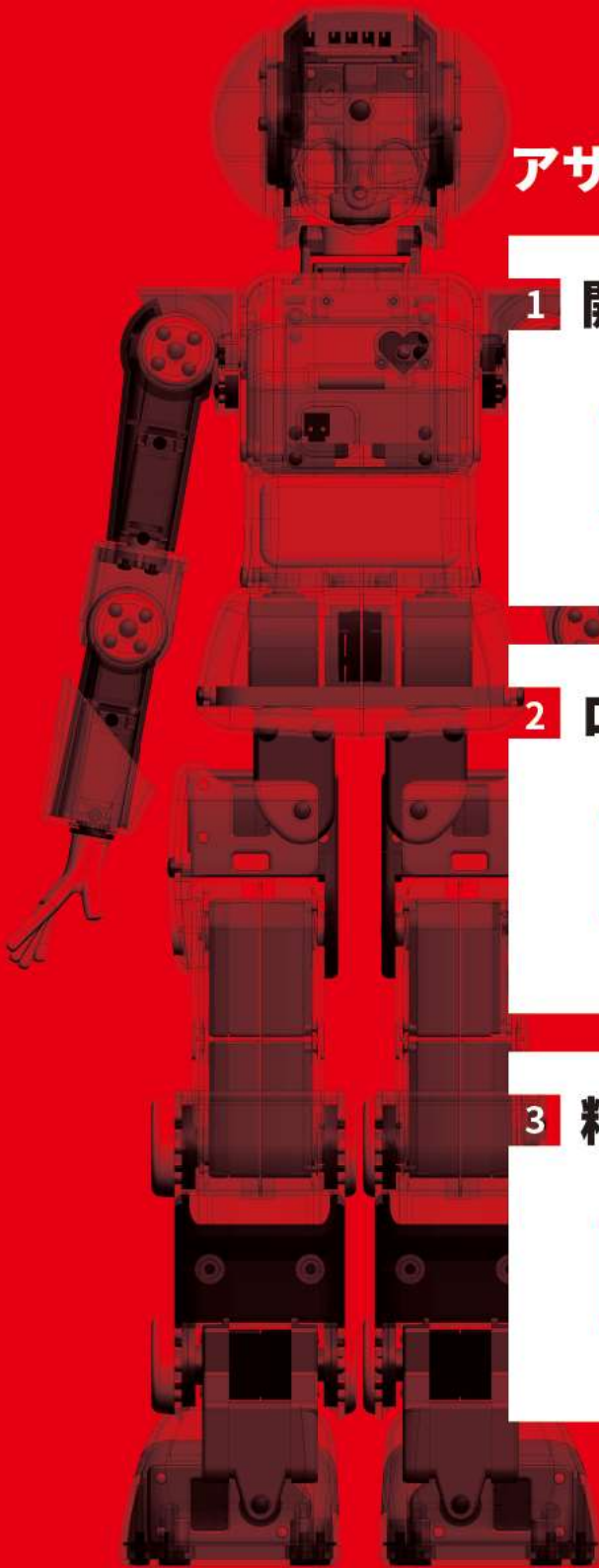
人間とロボットの楽しい共存

少子化による生産年齢人口の減少から、国を挙げて**生産性向上**が叫ばれています。
その背景から、あらゆる産業において、ロボットを活用し、
効率化・省人化を目指す動きが加速しています。
私たちは高度な開発技術力でその要請に応え続けています。

しかし、**ロボットの可能性**はその先にあります。

ロボットでしか、なし得ない驚きや豊かな体験。
さりげなく生活を支え、ロボットを感じないロボット。
ロボットがあることで、強く幸せを感じる生活。

ロボット開発は、**人がより良く生きるためのアート**です。
私たちは、ホビー開発で創業した“**FUN**”の精神を忘れず、
社会に価値を提供し続けていきます。



アサイ・エンジニアリングの事業概要

1 開発コンサルティング

**ロボットをゼロから
形にできる創造力**

モノづくりにゼロベースから伴走し、プロジェクト成果を創出するコンサルティングを提供します。最初期のフィージビリティスタディ（実現可能性調査）、それに基づいた開発プロセスの提案、そして量産を見据えた試作品製作提案まで、ものづくりを最適の方法で進めるお手伝いをします。

2 ロボット開発組織化支援

**ロボット開発に不可欠な
知識と情熱を**

開発チーム組成の際に課題になる「ロボットの機構や概要把握」「ロボット企画の立案方法」「プロジェクト工程の理解」などの必要な知識共有を行います。それに加え「創造的なものづくりやマインドセットの醸成」など、創造的チームになるための研修や実践型ワークショップを提供します。

3 精密機械ロボット開発

**高難度な開発を
低リスク・最短距離で**

ロボット・アクチュエータ等精密機械の開発を行います。筐体（外観）はもとより、内部のリンクや歯車機構等の設計までも一貫して行うことができます。大手メーカー様（精密機器、重工業、建設、IT、ほかの新領域における開発プロジェクト）のサポート実績が多数ございます。

アサイ・エンジニアリングの“ FUN ” エンジニアリングプロセス

“ FUN ” ENGINEERING PROCESS



問題の ヒアリング、 取材	ワーク ショップ、 ブレスト	イメージの 企画化 (3D モデル)	企画の 発展的 ブレスト	プロジェクト 設計指導	プラン 絞り込み、 仕様書作成	技術調査、 可能性の探求	最適技術の確定	設計	実物の試作製作
暗黙的な問題や曖昧なイメージを 可視化しプロジェクトを加速 ものづくりマインドや 姿勢を醸成するワークショップ			豊富な開発実績に基づいた 解決策とプロセスの提案・指導 複数プランを絞り込み、機能 仕様を決定し、仕様書を作成			技術検証により、事業や プロジェクトのリスクを軽減 高難度課題を最短距離で 解決するための技術提案		綿密な設計を経て、 実物の試作を制作 必要要件のみならず、 感性性能も備えた製作・提案	
[成果物の例] 3D ラフ／初期企画書			プロジェクト計画書／機能仕様書			技術仕様書		実物試作／設計書	

技術分野

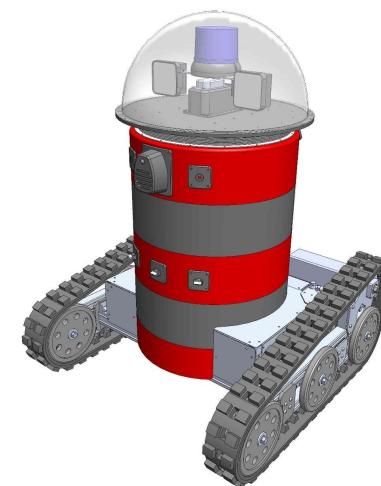
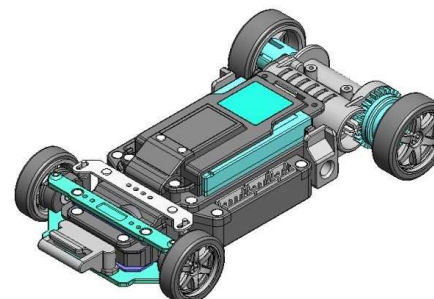
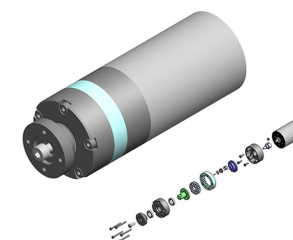
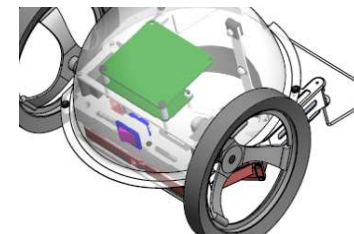
ロボット／精密機械

- 精密医療機器
- ロボット用アクチュエータ（サーボモーター）
- 実験用装置
- 自律移動ロボット
- 建築物検査ロボット
- 鳥獣被害対策ロボット
- エンターテインメントロボット

ほか

ホビー製品

- R/Cモデル（四輪・二輪）
- ホビーロボット



ロボット開発の相談窓口

AIロボットイノベーション

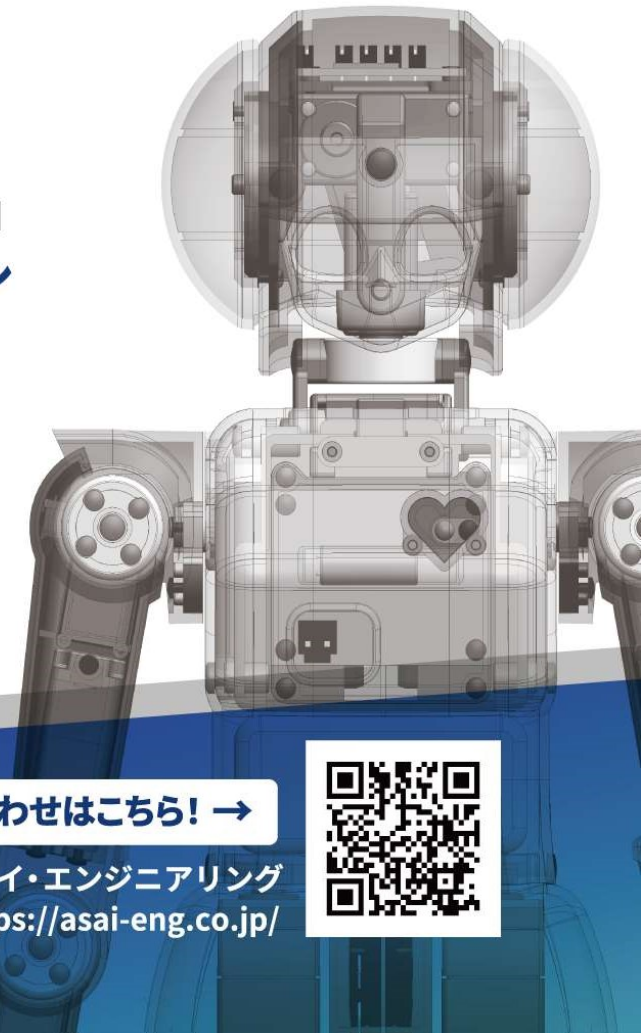
ロボット開発を加速する

ロボットのプロフェッショナルであるアサイ・エンジニアリングは、皆様がより気軽にロボット開発の一步を踏み出せるよう、**ロボット開発の相談窓口「AIロボットイノベーション」**を開設しました。大型ロボットから精密医療機器にわたる幅広い開発実績に基づいたノウハウとネットワークでサポートします。まずはロボット開発に関する疑問や質問をお気軽にお寄せください。

- 新規開発の道筋を考えてみたい
- 自社の既存リソースをもとに、ロボット開発を検討したい
- 開発会社とのコミュニケーション力をつけたい

お問い合わせはこちら! →

運営：株式会社アサイ・エンジニアリング
<https://asai-eng.co.jp/>





開発実績

「モノづくりに臆せず挑戦できる」クリエイティブ人材育成



企画・開発力を“つくって”身につける

ロボット開発 (FUN) 実践講座

受付中!

ロボット開発の
初心者や
文系の方も歓迎!



世界中でイノベーションが求められる中、
ロボット開発は活況を迎え、人々の生活やあらゆる産業において適用が進んでいます。
「ロボットをゼロから形にできる創造力」を掲げる私たちアサイ・エンジニアリングは、
このような背景から、創造的な開発者をより多く生み出すべく
開発実務に役立つ知恵を提供する実践型のロボット開発講座を開校しました。

一般企業 事業開発・商品企画担当者向け

構想からロボット試作まで「創造する」体験
ロボット開発を通じて企画力を磨く

社会人ベーシックコース

製造業 企画・開発担当者向け

ロボット開発の全体像を理解し、
構想・仕様化・設計の要点を学ぶ

開発者エントリーコース

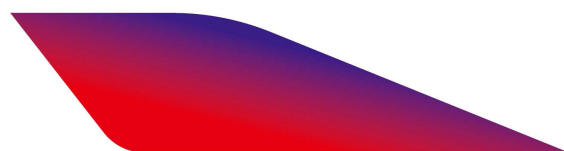
製造業 企画・開発担当者向け

イノベティブなロボット開発の方法論
開発を加速させる「見極め力」を身につける

開発者アドバンスコース

自由な発想でモノづくりに臆せず挑戦できる人々を増やす。
それにより日本のイノベーション創出を加速する。

- ▶ ASAI-ENG.独自開発の教材用ロボットをベースに、各自のアイデアを具現化し、
ひとり一体 オリジナルロボット製品のプロトタイプを作り上げます。
- ▶ ロボット開発技術の基礎を習得しつつ、新製品開発に欠かせない
「突破力」「モノづくりへの原動力」を独自のアクティブラーニングを通じて習得します。
- ▶ 手を動かして試行錯誤し、仕上げる成功体験を通じて、アイデアを自由に発想し、
それをフットワーク軽く実現できるイノベーション人材の育成に貢献します。



ASAI-ENG.

日本の**生産年齢人口**は、2050年には
29.2% 減少（2021年比）**すると言われています。**

全世界的に省人化のニーズが高まっている現在、
皆様の多様な視点が、新しいロボットと価値を創出します。

ロボットとは何か

**近年、ロボットづくりに必要なリソースに
手軽にアクセスできるようになりました**

ロボットの種類

初めてのロボット開発で最も重要なこと

ポイント①：開発プロセス

弊社が採用している開発プロセスの例

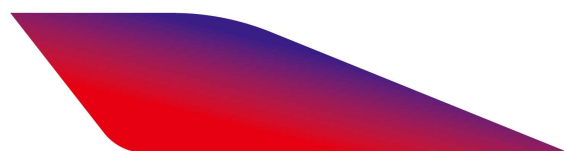
現在、あらゆる産業に
ロボット技術の導入が進んでいる。

→ ロボットに馴染みのない業種からのニーズが高まっており、
丁寧な企画検討がますます重要となっています。

ポイント②：開発リソース

やはり、ロボット開発は**多大なリソース**を必要とする

**確実にポイントを押さえて、
ロボットビジネスで新時代を創造しましょう！**



ASAI-ENG.